IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門（D部門）ニューズレター 2018年4月号 (<http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/nl/>)

産業応用部門横浜大会へのお誘い Invitation to 2018 IASAC at Yokohama

平成30年 電気学会 産業応用部門大会 実行委員会委員長

河村 篤男（横浜国立大学）

Atsuo Kawamura (Yokohama National University)

Steering Committee Chair of the 2018 IEEJ Industry Applications Society Conference

第32回目を迎える電気学会産業応用部門大会は平成30年8月28日（火）～8月30日（木）までの3日間にわたり、横浜国立大学常盤台キャンパスで開催されます。今回の横浜大会では、昨年の函館大会から採用しました、いわゆる国際会議様式の運営スタイルになっています。初日の午前9時からのプレナリーセッションで大会が開始します。この中では、部門長、開催校学長の挨拶の後で、韓国と中国の関連学会からの基調講演があり、引き続き、地元に関する技術と文化の基調講演、部門表彰と続きます。特に、特別講演では、地元企業の日産リーフに関する電動化技術のお話を、さらに地元の教養文化に関する講演として、横浜開港に関する歴史に関して横浜開港資料館副館長の西川武臣氏からご講演いただく予定です。150年前の開港時前後の“象の鼻”界隈の様子、知られざる当時の治安の秘話などをご紹介くださる予定です。続いて、「ヤングエンジニアポスターコンペティション（YPC）」があり、その後は一般セッションやシンポジウムが続きます。

産業応用部門は、持続可能な社会の構築に貢献する電気技術の情報基地として、電気機器・パワーエレクトロニクス・制御などの基礎技術から産業・交通運輸・社会システム・家電などの広い応用分野をカバーしていますので、これらに関する論文発表を、「一般セッション」およびYPCでそれぞれ募集します。また、各技術委員会の調査専門委員会あるいは協同研究委員会が最新の技術動向について調査、整理した内容を報告、討論する「シンポジウム」も募集・開催します。さらに、新たな分野や最新の技術に関してより活発な討論を行うために、「オーガナイズドセッション」も募集・開催します。

今回の横浜大会での新しい試みを紹介しましょう。1つ目は、若手エンジニアの会、女性エンジニアの会です。29日（水）の昼食時に集まりが企画されています。最初は合同で開催し、それから別々に議論します（案）。奮ってご参加をお願いします。2つ目は、好評開催中のものづくり道場（パワエレ道場、モータ道場、メカトロ道場）の修了者の集ま

りの企画です。3つ目は、YPCへの海外からの参加です（予定）。4つ目は、大学展示です。実験装置を持ち込んでの展示が可能となります。参加費は無料ですので、広く募集します。5つ目は、29日（水）夜の懇親会（中華街）でのサブライズイベントです。是非、ご参加を計画ください。6つ目は、表には出てこない、会議の裏方の件です。国際会議に近い実行委員会運営手法を試行しています。今後は開催校幹事の負担は軽減される方向に進みます。

大会前後にもイベントがあります。「子供理科体験教室」は8月12日（日）に横浜駅近くに位置する「かながわ県民センター」で実施し、LEDイルミネーション電子オルゴールと電気二重層キャパシタを用いた電気自動車の子供たちに実際に作って動かしてもらう予定です。また、大会直後の8月31日（金）のテクニカルツアーでは、日産リーフの生産工場の見学を検討しています。

最後になりましたが、人口370万の横浜市内は観光の目玉が多数あります。例えば、中華街、赤レンガ倉庫、山下公園、港の見える丘公園、伊勢佐木町界隈などの旧市街地区、さらに、現代的な建物が並ぶ、みなとみらい地区などです。この辺りは2時間程度で歩いて回れる範囲ですので、会議の前後に観光し、横浜の美味しいものを食されることをお勧めします。なお、横浜国大常盤台キャンパスは横浜駅から少し離れていますので、時間帯によってシャトルバスを無料運行しますのでご利用ください。

では、盛りだくさんの平成30年産業応用部門大会への皆様のご参加を心よりお待ちしております。